

学校だより

3つの「あ」×3つの「ことば」

# けいせい

帯広市立啓西小学校

どんだん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和7年7月11日発行

7月も中旬に入りました。35℃を超える猛暑日が続く中、熱中症対策にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。こうした中、本校では熱中症対策をとりながらゲストティーチャーをお招きし、子ども達に向き合っていたいただき、多くのことを学んでいます。今号では、その一端と子ども達の様子を写真を交えてお伝えします。

本物から学ぶ ～ ゲストティーチャーから多くのことを学んでいます ～

「わからないことがわかるようになった」「できなかったことができるようになった」を実感する！！

## 音楽の世界に魅了されました ～ 子供のための芸術鑑賞ワークショップを終えて ～



『モーツァルト三重奏』が体育館に響き渡ると鑑賞会ははじまりました。7月9日(水)の3～4時間目に山形交響楽団の方々をお迎えして、全校で芸術鑑賞ワークショップを行いました。ワークショップとは、司会(指揮者)のもと、子ども達が近い位置で楽器に触れ、音楽を身近に感じることができるよう編成されたプログラムのことです。これは、9月19日(金)に本校で予定している本公演を楽しむための事前学習として行いました。



ワークショップでは、楽器紹介と演奏をメインに、後段でコミュニケーション(質問タイム)を取っていただきました。

今回、紹介していただいた楽器は弦楽器(チェロ)、木管楽器(オーボエ)、金管楽器(ホルン)の3種類でした(写真左上はチェロの紹介場面、中段は三者の演奏場面)。それぞれの楽器になじみのある曲を演奏していただきました。

また、質問コーナーでは、時間の許す限り、子ども達の声に答えていただきました。いくつか紹介しますと

- ・「ベートーベンは何曲くらい作曲したのですか？」
- ・「オーケストラでは、一つの楽器を何人くらいで担当するのですか？」
- ・「チェロとヴァイオリンの違いは何ですか？」
- ・「楽団をやっていて、大変なことは何ですか？」

などの質問にわかりやすく答えていただきました。

1時間程度の短い時間に、子ども達が心と体で感じたものは大きかったようです。子ども達が目を輝かせ、真剣に耳を傾けていたことがこのことを物語っているように感じました。

本物を間近で、見て、聴いて、感じる。今回、このように素敵なプレゼントをいただいた山形交響楽団の皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

また、9月19日の本公演が近づきましたら、保護者のみなさんにもあらためてご案内いたします。



## 市内小中学生いじめ・非行防止合同サミットに参加しました

6月24日（火）に市内小中学生いじめ・非行防止サミットがオンラインで行われました。このサミットは、いじめや非行問題について、市内小・中学校及び義務教育学校の児童会と生徒会の代表が話し合うことで、児童会と生徒会のつながりを深めるとともに、各校の様子を共有しながら、いじめや非行防止の活動を進めることをねらいとしています。

今回は、西陵中エリアサミット（西陵中・広陽小・啓西小）として話し合いや交流を行いました。本校からは、児童会会長と副会長・書記のみなさん（写真上段）がオンラインで参加し、いじめの防止や非行防止について、『一人一人のウェルビーイングを大切にする学校づくりのために』をテーマにそれぞれの学校の様子を交流したり、テーマに迫るために、何ができるのかを話し合ったりしました。

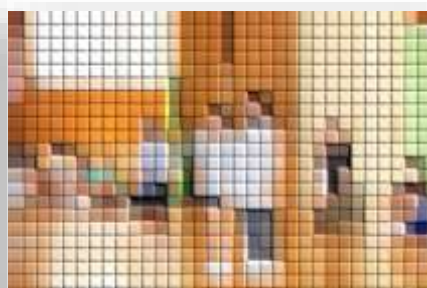
参加した児童会役員のみなさんは、サミットを通して、各校の取り組みの良さに気づき、啓西小学校の取り組みに活かしていきたいという思いを強くしたようです。



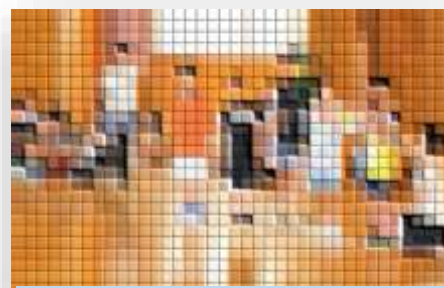
## 7. 3 全校集会を写真で綴ってみました ～啓西っ子の姿をご覧ください～



全校で校歌を高らかに歌い、全校集会はスタートしました



スムーズな進行 大変立派でした



委員会からののお知らせの一コマ



二人の元気マンが登場し、「元  
気よく自分から『あいさつ』をし  
ましようと呼びかけました。  
＊ 寸劇でわかりやすく表現して  
いました。



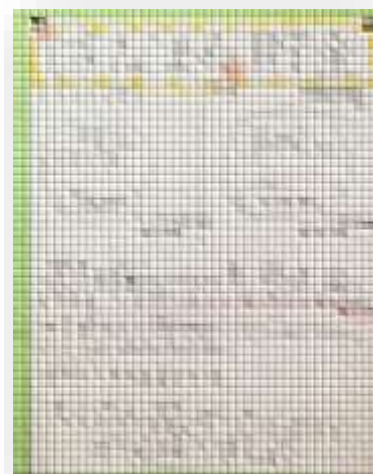
今年度の取り組みの一つとして、『は  
なまる貯金』の呼びかけがありまし  
た。花丸（はなまる）な行動をしてく  
れた時に、花弁に見立てた用紙に記入  
し、貼っていきます。  
たくさんの花が咲きますように・・・

今回の全校集会は、大きく3つのポイントがありました。一つ目は、各委員会からののお知らせと連絡でした。それぞれの委員会が進める取り組みなどをわかりやすく伝えていたこと。

二つ目は、あいさつ運動の一環として、元気マンが登場し、『自分から元気よくあいさつすることの大切さ』を呼びかけたこと。なかなか自分からは、あいさつがしづらいと思いますが、相手が自分の存在を認めることのできる有効な手段として是非、身に付けたいことの一つですと紹介していました。

そして、三つ目は『はなまる貯金』の取り組みについてでした。色々な人と関わる中で、たくさんの出来事がありますが、その中で、相手のよいところをたくさん見つけることができればいいですね。

また、全校集会の取り組みを通して、啓西っ子の表現・発信する力（OUTPUT）が高まっていることを垣間見た瞬間となりました。



図書スペースに展示してありますので、来校の際にご覧ください。